

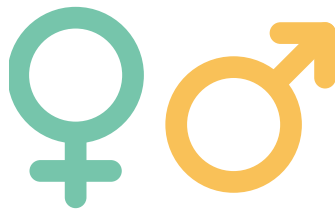


ってなんだろう？

性という、男性と女性の2つを思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、性はこの2つ以外にもたくさんあり、実際はさまざまな人が混在して生活しています。現在、性には大きく次の4つの指標があると考えられています。



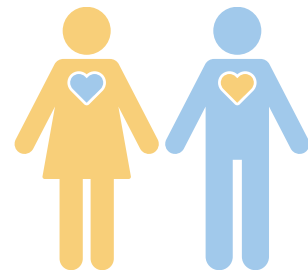
1 身体の性



生まれたときの生物学的な性



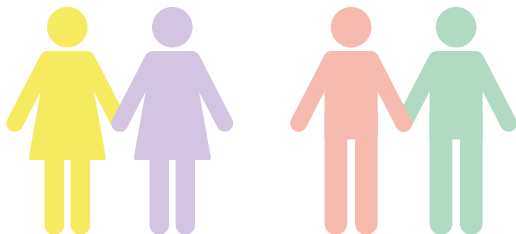
2 心の性



自分で認識している自分自身の性



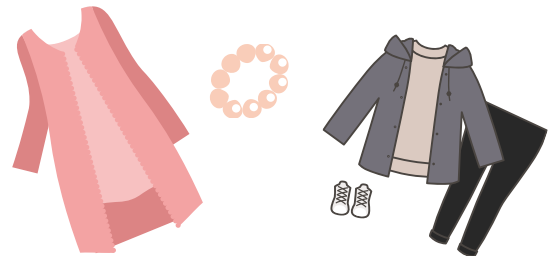
3 好きになる性



魅力を感じる相手の性



4 社会的・文化的な性

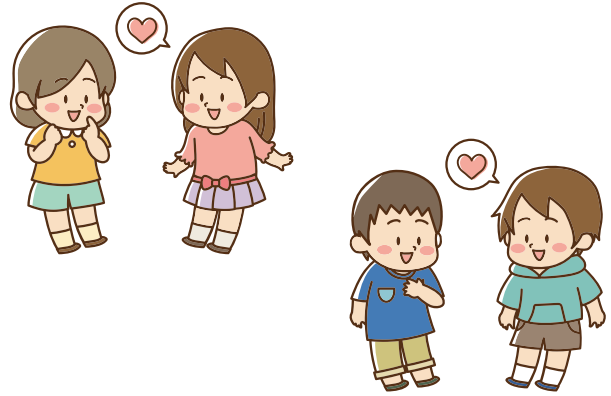


見た目や仕草、言葉遣いなど、自分が表現する性

性的マイノリティとは？

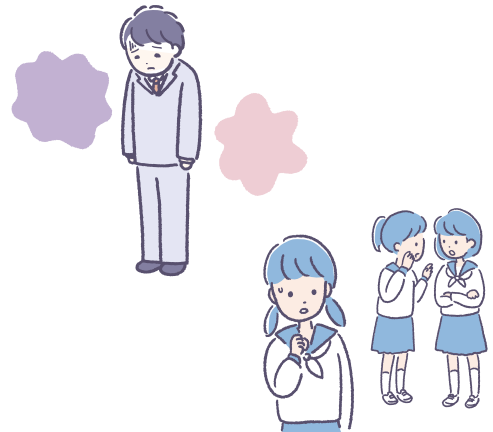
性的マイノリティは、「身体の性と心の性が一緒に、異性（男性だったら女性、女性だったら男性）を好きになる人」以外の人を表す言葉です。

性的マイノリティの人口割合は、日本国内で行ったいくつかの調査から、約10パーセントという結果が出ています。性的マイノリティの人は、ごく身近にいます。



性的マイノリティの人が困っていること

性的マイノリティの人には、日常生活において、たくさんの困りごとがあります。例えば、身体の性と心の性が異なる人は、男性と女性の制服が別々の学校に通う場合、着たくない制服を着なければいけません。自分が心で感じている性別とは違った制服を着る状況を考えて、その辛さが想像できるのではないのでしょうか。また、性的マイノリティであることで差別されたり、偏見を持たれることも、大きな問題です。



誰もが生きやすい社会を目指そう

性的マイノリティの人に対して、まずは「そういう人たちもいる」と理解をするところから始めましょう。自分の常識が、全ての人に必ずしも当てはまるとは限りません。さまざまな考え方や置かれている状況の中で、どのように相手を尊重して、共に生きやすい社会を作っていくのか、ということを考えてみましょう。

